

留学報告書

カナダ・ブリティッシュコロンビア大学

学部学科・研究科専攻	海洋学部海洋理工学科海洋理工学専攻		留学時学年	2年
留学先	国	カナダ	大学/機関	University of British Columbia
期間	2025年2月24日～2025年3月21日			
	短期	計1ヶ月		

[1] 参加した語学コースの時間数/科目名 (受講科目・複数可)

- 授業時間数:
- 科目名: English

時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00~10:40	○	○	○	○	○	Free	Free
10:50~12:30	○	○	○	○	○	Free	Free
13:30~15:40	○	○	○	○	Free	Free	Free

[2] 授業内容について教えてください。

(クラス人数、国籍割合、担当の先生、授業方法、使用教材等)

クラスの人数は20人程度でした。全員日本人で様々な大学の方がいました。学校が始まる前に簡単なテストを受けてそれぞれの能力でクラス分けをしました。

担任の先生は毎授業変わり、3人の先生と関わりましたが全員英語ネイティブの方でした。

授業はグループワークとプレゼンテーションが主でした。グループワークでは例えばカナダと日本の文化の違いについて英語で話したりカナダについて一般の方に英語でインタビューをしました。また、配られたトピックについて英語で話し合いました。スマートフォンを使用してクラス全員でカナダについてのクイズに答えることもありました。ほとんど毎授業でプレゼンテーションがあり、毎日その準備をしていました。発表など英語で発言する機会がとても多く積極的に発言することが求められていました。

教科書はなく、毎授業配布されるプリントを使用しました。

朝来たら日本人同士でも「Hello, How's it going? How was your weekend?」などと会話をして楽しみました。

大学内にいるときには英語で話すことが義務付けられていました。

[3] 課外活動・研修旅行・余暇の過ごし方について教えてください。

大学が4時ごろ終わるため平日は大学内にある博物館やカフェにいきました。たまにガスタウンまで買い物に行くこともありました。ただ、多くのお店が夜7時くらいで閉まってしまうためそれまでに買い物を済ませる必要があります。飲食店も中には遅くまでやっているところもありましたが7時ごろにしまってしまうところも多かったです。金曜日の授業は課外授業で様々な場所で課題が出されました。内容は例えばお題（カナダの国旗、リサイクルボックス）が出題され、その写真などをとる課題でした。授業が早めに終わることも多かったためそのままその場所を観光したりしました。

休日はスノーボードをしたりビクトリア観光、オーロラを観たり平日はできないような遠出や観光をしました。

[4] 派遣先でよく使った施設について教えてください。（図書館、学生会館、スポーツ施設等）

サッカーが好きだったため大学内にあるジムでサッカーボールを借りて人工芝のグラウンドでサッカーをしました。

学内にコーヒーや軽食を食べながら友達と話をしたり課題をするスペースがあり、しばしば、そこで話をしたり集合場所になったりしました。

[5] 宿舎（寮やホームステイ）での生活について教えてください。

部屋：1部屋__1人で使用

様子：

部屋はそれほど広くはなくベッドと勉強机、クローゼットがありました。私の部屋は地下だったためお風呂やトイレ、ご飯を食べるときには1階に行っていました。ホストマザーは優しく夕飯中や夕飯が終わった後には英語で会話を楽しみました。また、私は犬が好きなのですが、ホームステイ先には犬が二匹と猫が一匹いたためそれらと触れ合ったりして時間を過ごし、自分の部屋は課題をするときと寝るとき以外はあまり使いませんでした。

朝起きるとホストマザーに「Did you sleep well?」と聞かれ「What will you do today?」などと聞かれます。そして今日のすることを伝えて家を出て帰ってくると「How was your day today?」「What did you do today?」というように聞いてきてそれについて会話をします。これが毎日のルーティーンになっていました。ハウスルールは特になく夕食がいない場合には伝えてねというくらいでした。朝はセルフでシリアルに牛乳をかけたりパンを焼くなどして自分で作ります。朝は時間がなかったためシリアルで済ませることがほとんどでした。その後ホストマザーに準備してもらったランチをもらいます。昨日の夕飯の残りか、サンドウィッチが多かったです。夕ご飯は大体7時ごろが多かったのでそれまでにかえて来られたらルームメイトと3人でご飯を食べます。それ以降に帰ってきたら私の分はすでに準備してあるためそれを温めなおしていただきます。ホストマザーがいるときには話をしました。その後は自由時間なので犬を触ったりシャワーを浴びたり課題や明日行きたい場所について調べたりしました。毎日疲れていたため11時までには寝ていて朝は7：30に起きて規則正しい生活ができていました。

7：30起床

7：40朝食

8：00支度

8：20出発（バス停まで歩いて10分くらい）

8：45学校到着

9：00～10：40 1限

10：40～10：50 休み時間（放課後に行きたい場所や課題、プレゼンについて話す）

10:50~12:30 2限
12:30~13:30 昼休み（ランチ、プレゼン準備したりサッカーを観たり）
13:30~15:40 3限
15:40~ 観光
20:00~ 帰宅 夕食 課題 シャワー 寝る支度 デュオリンゴ
22:30 就寝

[6] 留学中に楽しかったこと、苦労したことを教えてください。

● 楽しかったこと：

毎日英語を勉強することが本当に楽しかったです。毎日同じ教室で同じ生徒と授業を受けること、またグループワークが多かったこともありクラスメイトとすぐに仲良くなりました。朝来たら「Hello, How's it going?」などと聞いて昨日のことについても話したり自分から英語を使いどんどん話しかけるようになりました。授業は座学が少なく歩き回ってクラスメイトと会話したりグループを作って発表、外にインタビューをしに行きました。私の日本の大学とは違い能動的に自分の言葉で学べる事がすごく楽しかったです。グループ対抗でゲームなども多くあり、学内の人にインタビューをしたり決められた場所で写真を撮ります。それぞれポイントが決められていて戦います。また、金曜日の授業で先生とランチに行ったり観光名所を回ることもあり遊びながら英語を学べて有意義でした。

また、休日は友達と観光に行きました。その中で何度もカナダの方と話す機会があり、自分の英語がどのくらい通用するのかや、授業で習ったことを早速使ってみることも楽しかったです。

観光自体もすごく楽しくて自分たちだけで目的地まで行くことも大変で毎日へとへとになっていました。休日の遠出をするため金曜日にやっと1週間終わったと思ったら土日は遠出をして月曜日はさらに疲れているというようなサイクルでした。

クラスは午前と午後で変わりますが中には午前午後どっちも同じクラスメイトが10人くらいいても仲良くなりました。その子たちと放課後や休日は遊びに行きました。

● 苦労したこと：

初めはホームステイ先の会話にとっても苦労しました。英語が堪能ではないため話すことも聞くこともすごく集中してホストマザーの話を聞きました。そのため初日はすごく疲れたことを覚えています。学校でもずっと英語のリスニングとスピーキング、帰ってきてホストマザーの質問攻めにあい、休む時間がないと思いました。しかし、気づいたらホストマザーと話すことも苦ではなくなり、むしろ英語上達のために自分から話しかけるようになりました。ホストマザーはとても親切でした。私が英語があまり上手ではないためすごくゆっくり話してくれたり私が理解していないときにはさらに説明、紙に書いてくれたりしました。あるときホストマザーが私に「あなたと話しているのは小さいころ息子に英語を教えていたことを思い出す」といわれ私の英語は何歳くらいか聞いたら4歳だといわれました。とても驚きました。私を含めて日本人は文法はよく理解していて10歳くらいの力があるが、会話のキャッチボール（相手の言ったことを正確に聞き取ったり反応すること）は4歳くらいだということでした。

また、授業ではほぼ毎日発表があったためその準備に苦労しました。私は英語で原稿などは作らずパワーポイントを見ていうことを大まかに決めておくタイプだったためそれほど苦労しませんでした。原稿をすべて作ってくる友達はすごく苦労していました。

また、オーロラを見に行く途中の空港でPCをなくしてしまいとても困ってパワーポイントをスマホで作ったりしました。最終的にPCも取り戻すことができました。

[7] 留学の成果について教えてください

1) 語学力の向上：

初めはホストマザーからの質問にも満足に答えられないほどリスニングが難しかったです。日を追うごとにどんどん上達していくのを自分でも感じました。前ほど集中しなくても英語が聞こえるようになりました。初めはスピーキングにも苦労しました。今日は何をしたの?という単純な質問に対してもすぐ時間がかかって返答をしていました。しかし、2週目を過ぎたころから、ホストマザーとの会話を楽しめるくらいに英語が上達したと感じました。

また、私のホームステイ先には私を含めて4人の留学生がおり1人は私と同じ英語を勉強するために日本から来た留学生でしたがあと二人はUBCで専門的な勉強をしている人でした。そのためその2人と英語で会話をして英語のリスニングやスピーキングを上達させました。

授業のグループワークで実践的な英語を二人で演じるというものが何回かありました。たとえば服の店員とお客、カフェでの注文などです。やり取りを学び暗記して最後に発表というものでしたが留学先でもすぐに使えるような言い回しをたくさん学ぶことができました。授業でも英語を学ぶことができましたが同じくらい家での会話も大切で私の英語力が伸びたと感じました。

2) 専門知識の向上：

留学として英語を勉強して気づいたことがたくさんありました。私は今まで英単語や文法の勉強をたくさんしてきました。しかし、いざ留学に来てみると会話が難しいです。まず相手が何を言っているのか聞き取る必要があります。それはリスニングで伸ばすことができるかもしれませんが、しかし、日常会話の中には、私が日本で勉強しているときには出てこなかった言い回しや熟語をたくさん聞きました。日本で英語の勉強をしているだけでは足りないと感じました。また、答えるときにもすぐ時間がかかってしまいました。日本で問題を解くように文を書きながら考えて答えることができてもその場で瞬時に答えることへの準備が足りていなかったと感じました。また、日常会話での相手の言ったことに対する反応や理解したなどの意思表示が足りないと感じました。完全に同意しているのか、また、自分には違う意見があったり、相手の言ったことに対してその都度違う考えがあったり同意する場合、理解を示す場合にも反応が数パターンしか知りませんでした。そのため自分の感情を相手に伝えることにとっても苦労しました。しかしこれらの技能はたった1か月の留学でも上達したと感ずることができました。

3) 自己成長など

私は初日ホームステイ先に来た時、また、初めて大学の授業を受けた日は本当に疲れ果てていました。英語のリスニングを学校でも家でもずっとしているような感じで常に集中していました。しかし、どんどん慣れてきて、ホストマザーの話は自然と入ってくるようになり、言いたいことが少しずつ言えるようになりました。また、帰ってきた後に課題をやり、その流れで英語の勉強を毎日する習慣がつかしました。

また、日本にいるときよりもより自分のことを周りに発信することが簡単になったと感じます。例えば、授業では毎日プレゼンテーションがあるため最初の頃は緊張していましたが、どんどん慣れてきて、うまくこなせるようになりました。英語で話すことへの恐怖心がなくなり、自分の英語が間違えているかどうかよりももっと自分の英語を使いたいと思うようになりました。また、カナダでは多くの人々がバスを降りるときにドライバーに thank you を言います。日本人はシャイであるためそのようなことに対して少し消極的であると感じます。カナダに行ってそのような私の中のシャイな部分が消えたように感じました。

カナダはとてもおおらかでフレンドリーな人が多いと感じました。例えばバス停でバスを待っているときに近くの人にこのバスはここに止まるかと聞くとあなたはどこに行くの?どこの国の方?などどんどん会話が弾みました。またふとした時にもカナダ人の優しさが見えたり心に余裕があると感じました。

[8] 来年度に留学を希望する学生へのアドバイスをお願いします！

バンクーバー内バスや電車に乗るときに使えるコンパスカードというものがあります。私はチャージ式を買ってしまったのですが1か月のマンスリーパスのほうが絶対に安いのでそっちをお勧めします。現金は本当に使うところがなく、チップもカードで支払います。私は結局1回も現金を使う場面に遭遇しなかったため帰りの1週間前から無理に現金を使いました。本当に現金は少額でいいです。

[9] 留学に関する費用の総額について内訳を教えてください。

項目※詳しく記入して下さい	金額（当時の日本円）
渡航費（旅行会社に支払った経費）	95万円
授業料以外の諸経費（教材費・課外活動・保険料等）	
私生活における諸経費（食費・交通費・洗濯費等）	10万円
現地からの奨学金がある場合	
お土産代や個人的な買い物	10万円
その他（ イエローナイフにオーロラを見に行きました ）	20万円
留学に関する費用の総額	135万円

